

## 良識の府の再生を考える



参議院選挙が近づいてきました。郵政国会、ねじれ国会など、このところ参議院の存在が政局を大きく左右することが多く、参議院のあり方について論じられることが増えています。

参議院議員の任期は6年と長く、半数ずつ3年ごとに改選されるので空白期間がありません。解散もないので、腰をすえて国の行く末を考えながら国の舵取りを行うことができます。

党益や目前の状況に意思決定が左右される危険性がある衆議院が暴走状態に陥っていないか、より大局的な視点からチェックする「良識の府」としての役割が期待されており、民主主義のシステムを守る上で大変重要な存在だと思えます。

しかし近年の参議院は、その長所を活かすどころか衆議院のカーボンコピーと揶揄され、不要論もふくらむばかり。確かに現在のように参議院が政党政治に染まっていると、衆参の最大政党が同じならば党の方針に従う形で単に衆議院の決定を唯々諾々と了承してしまい、参議院のチェック機能はうまく働かません。また、衆参の最大政党が異なるねじれの状態になっている場合も、党議党略に照らした反対のための反対をしてばかりで無用の混乱を招き、国会運営が停滞することになります。どちらにせよ、現在の参議院は日本の国益より党益を優先した決議をするための場になりがちであるように思えます。

二院制は多くの国に見られますが、日本のように衆参の差異が乏しいケースは稀です。その原因はやはり選挙制度にあるでしょう。たとえばアメリカ元老院（上院）の議席は各州2名ずつ配分され、人口によって議席配

# 月刊 脊 振

福岡県議会議員  
(南区選出)  
**ひぐち明**  
県政活動報告誌



夢への挑戦  
あきらめない!!

分される代議院（下院）よりも「州の代表」としての性質が強くなっています。人口の少ない州が劣勢におかれることなくその実情や利害について主張できる場としても尊重されています。カナダ元老院も無選挙で首相による任命制で純資産の低限が決められていたり、任期制ではなく75歳定年制であったりとユニークです。

日本の参議院は6年に一度とはいえ、比例代表選挙と選挙区選挙によって選ばれるので、国民も衆議院選挙と同基準で参議院議員を選ぶことになる点が参議院の機能を無効化しているのではないのでしょうか。

### 参議院に抜本的改革のメスを

政治の目的とは、日本を暮らしやすい幸せな国にしておくことです。長期的、総合的に国益を考えることこそ、議員本来の仕事です。目前の政局や党益に左右されたり、委員長や閣僚などに出世していくことを狙ったり、次の選挙対策に汲々としたりするようならみから参議院議員をできる限り解放し、本来の仕事に専念させることが「良識の府」としての機能を取り戻すために不可欠であると私は考えます。

例えば参議院を無選挙・任命制にする、任期を長くし、代わりに再選や後継指名を禁止する、その良識や知識の深さ、周囲からの人望などによってふさわしい人物を選ぶなどの抜本的改革を行い、衆議院とは全く異なる立場から日本の国益を考える知識人集団として参議院が再生すれば、衆議院との相互補完という点からも、衆議院のチェック機能としても大変意義があるでしょう。国政の重要事項について長期的、総合的な調査を行う参議院調査会の存在意義も高まります。

刻々と変わる国際情勢や国内問題に迅速かつタイムリーに対応する衆議院、より長い目で国の方針を見据える専門家集団としての参議院、という役割分担を明確に打ち出し、日本の民主主義を成熟させていくべきときが来ているのではないのでしょうか。

### 南区トピックス

ワールドカップ真っ最中。第一戦の歴史的な勝利に貢献した長友佑都選手は我々が東福岡高等学校48期卒!!思わず応援にも力が入ります。南区でも小学生から50代まで多数のプレーヤーが汗を流しています。長友選手に続いて、がんばれ!選手たち!